

# ごのへ 議会だより

Gonohé Assembly News

議会広報  
令和2年4月  
第35号

第2回定例会(令和2年3月定例会)

第1回臨時会……2 令和2年度当初予算……4 予算特別委員会……6 第2回定例会……8  
一般質問(6人)……10 議員インタビュー……16 議員活動報告……18 編集後記……18

## 令和2年2月29日 第17期五戸町議会 始動



**関連記事 16～17P**  
今号から新企画『五戸町議会議員名鑑』(全16回)の連載がスタートします。議員へのインタビューを通じて、町民の皆様には議員の人物や町政を身近に感じていただければと思います。



# 第1回 令和2年3月 臨時会

3月2日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 2件			
原案可決	同意	承認	認定
0件	1件	1件	0件

## 議長就任のあいさつ

議長 三浦 専治郎



町民の代表である議員は、地域の行事に積極的に参加し、地域の人々の声を聞き、それを行政に届け、町議会と切磋琢磨し、五戸町福祉向上に繋げていかなければなりません。

町民の皆様には議会活動が理解されていない現状では、議員報酬、議員定数、議員のなり手不足等の議論はできません。議会改革の一層の推進に努めてまいります。

議員一人ひとりが町民の声に耳を傾け、町民に寄り添った活動を心掛け、五戸町全ての人が幸せに暮らしている町にすることが、町民の代表である議員の責務であります。ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 新議員紹介

令和2年3月2日に1日間の会期で第1回臨時会が開催され、新議長、新副議長及び各常任委員会の委員等が決定しました。  
任期は、令和2年2月29日から令和6年2月28日までです。

議席番号順  
(議長・副議長・当選回数順)

議長 1番



みうら せんじろう  
三浦 専治郎  
当選7回 73歳

副議長 2番



さわだ りょういち  
沢田 良一  
当選6回 83歳

3番



わだ ともや  
和田 智也  
当選1回 30歳

4番



かしわだ ただのり  
柏田 匡智  
当選2回 43歳

5番



かわさき しちひろ  
川崎 七洋  
当選2回 39歳

6番



すずき りゅうや  
鈴木 隆也  
当選2回 43歳

7番



おおくぼ かずお  
大久保 和夫  
当選2回 56歳

8番



とよた たかお  
豊田 孝夫  
当選2回 68歳

9番



たかやま こうじ  
高山 浩司  
当選4回 51歳

10番



おおさわ よしゆき  
大沢 義之  
当選5回 66歳



11番  
おがた ひろ ゆき  
尾形 裕之  
当選5回 61歳



12番  
まつ やま やす はる  
松山 泰治  
当選5回 62歳



13番  
かわ むら ひろ あき  
川村 浩昭  
当選6回 73歳



14番  
ふる た みつ お  
古田 陸夫  
当選6回 70歳



15番  
なか がわら けん じ  
中川原 賢治  
当選7回 68歳



16番  
み うら とし や  
三 浦 俊哉  
当選10回 77歳

**委員会名簿**

当町議会では、議会運営委員会と4つの常任委員会が設置されています。  
各委員会の任期は2年です。

**議会運営委員会 (6人)**

- 委員長 松山 泰治
- 副委員長 中川原 賢治
- 委員 鈴木 隆也
- 委員 高山 浩司
- 委員 大沢 義之
- 委員 古田 陸夫

**総務常任委員会 (6人)**

- 委員長 大沢 義之
  - 副委員長 高山 浩司
  - 委員 和田 智也
  - 委員 川崎 七洋
  - 委員 松山 泰治
  - 委員 三浦 俊哉
- 総務、税務、教育及び選挙に関する事務並びに他の常任委員会の所管に属しない事務を所管します。

**経済常任委員会 (5人)**

- 委員長 古田 陸夫
  - 副委員長 川村 浩昭
  - 委員 柏田 匡智
  - 委員 豊田 孝夫
  - 委員 中川原 賢治
- 産業経済、土木建設に関する事務を所管します。

**民生常任委員会 (5人)**

- 委員長 鈴木 隆也
- 副委員長 大久保 和夫
- 委員 尾形 裕之
- 委員 沢田 良一
- 委員 三浦 專治郎

○社会福祉、消防、上下水道、総合病院、国民健康保険、高齢者医療及び介護保険に関する事務を所管します。

**広報常任委員会 (7人)**

- 委員長 川崎 七洋
  - 副委員長 豊田 孝夫
  - 委員 和田 智也
  - 委員 柏田 匡智
  - 委員 鈴木 隆也
  - 委員 大久保 和夫
  - 委員 高山 浩司
- 議会の広報を所管します。

**一部事務組合**

- 八戸地域広域市町村圏事務組合議会(1人)  
川村 浩昭
- 十和田地区環境整備事務組合議会(1人)  
三浦 俊哉

**田子高原広域事務組合議会 (2人)**

- 議員 大久保 和夫
- 議員 豊田 孝夫

●十和田地域広域事務組合議会(1人)  
議員 尾形 裕之

**町長提出案件**

報告 1件

① 損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定について  
(報告は採決しません)

専決処分の承認 1件

① 一般会計補正予算(第6号)

・補正額(増額) 8675万9千円  
・予算総額(補正後) 92億5604万3千円

審議の結果  
全員賛成で承認

人事 1件

① 議会選出監査委員の選任  
○尾形 裕之氏(61歳)

審議の結果  
全員賛成で同意

# 令和2年度当初予算を可決

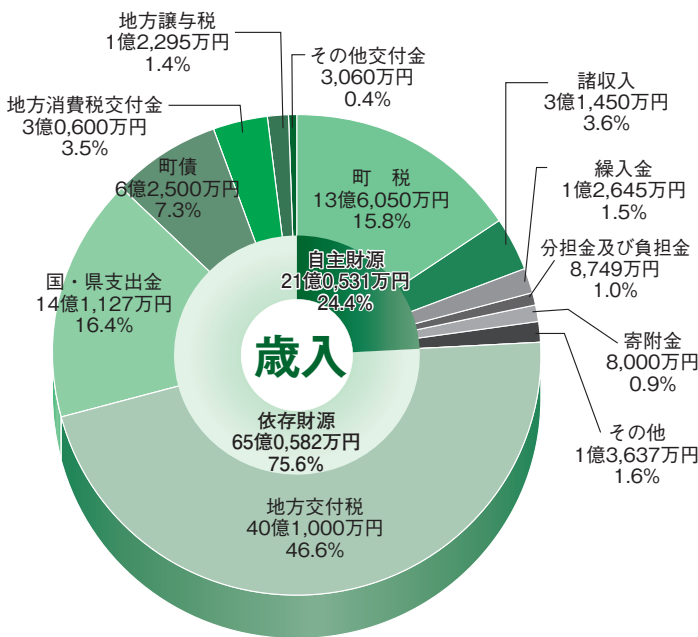
## < 財 源 構 成 >

自主財源  
24.4%

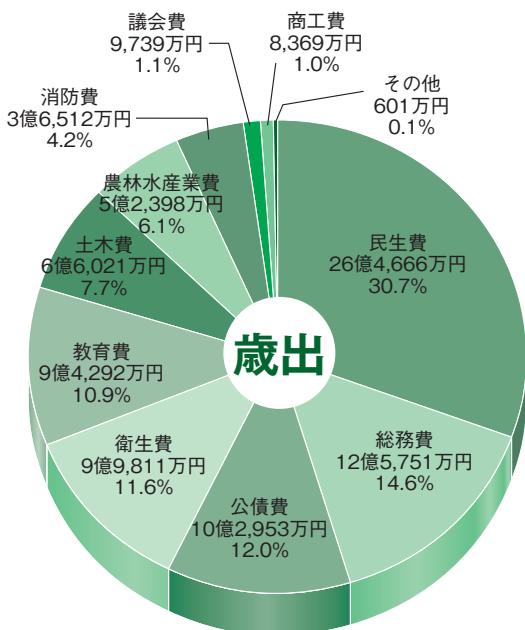
依存財源  
75.6%

一般会計 86億1,113万円 前年度比△2.2% 1億9,438万円 減額

### 【一般会計】



前年度比			
歳 入 (単位: 万円、%)			
区 分	予算額	増減額	増減率
町 税	13億6,050	29	0.0
諸収入	3億1,450	1億9,811	170.2
繰入金	1億2,645	△1億9,187	△60.3
分担金及び負担金	8,749	1,374	18.6
寄附金	8,000	2,000	33.3
その他	1億3,637	197	1.5
<b>小計(自主財源)</b>	<b>21億0,531</b>	<b>4,224</b>	<b>2.0</b>
地方交付税	40億1,000	△1,000	△0.2
国・県支出金	14億1,127	△1億2,197	△8.0
町 債	6億2,500	△1億4,450	△18.8
地方消費税交付金	3億0,600	2,600	9.3
地方譲与税	1億2,295	1,295	11.8
その他交付金	3,060	90	3.0
<b>小計(依存財源)</b>	<b>65億0,582</b>	<b>△2億3,662</b>	<b>△3.5</b>
<b>合 計</b>	<b>86億1,113</b>	<b>△1億9,438</b>	<b>△2.2</b>



歳 出 (単位: 万円、%)			
区 分	予算額	増減額	増減率
民生費	26億4,666	4,463	1.7
総務費	12億5,751	△1億0,256	△7.5
公債費	10億2,953	△3,071	△2.9
衛生費	9億9,811	708	0.7
教育費	9億4,292	2,762	3.0
土木費	6億6,021	△1億2,078	△15.5
農林水産業費	5億2,398	△255	△0.5
消防費	3億6,512	△1,892	△4.9
議会費	9,739	△971	△9.1
商工費	8,369	1,194	16.6
その他	601	△42	△6.7
<b>合 計</b>	<b>86億1,113</b>	<b>△1億9,438</b>	<b>△2.2</b>

**【特別会計】**

区 分	予 算 額	前 年 度 比	
		増 減 額	増減率
後期高齢者医療特別会計	4億5,898万円	1,608万円	3.6%
国民健康保険特別会計	21億9,658万円	△5,606万円	△2.5%
介護保険特別会計	24億0,307万円	△641万円	△0.3%
下水道事業特別会計	3億1,074万円	△5,772万円	△15.7%
農業集落排水処理施設事業特別会計	1億2,254万円	△356万円	△2.8%
簡易水道事業特別会計	1億0,366万円	△617万円	△5.6%
住宅用地造成事業等特別会計	399万円	119万円	3.1%
ケーブルテレビ事業特別会計	2,990万円	△52万円	△1.7%

**【病院事業会計】**

区 分	予 算 額	前 年 度 比	
		増 減 額	増減率
収益的収入	22億6,955万円	△2億1,659万円	△8.7%
収益的支出	28億9,659万円	2,868万円	1.0%
資本的収入	2億9,433万円	3,473万円	△10.6%
資本的支出	5億4,123万円	2,026万円	△3.6%

**令和 2 年度 主な新規事業**

**総務費**

● おんこちゃん A R 作成業務委託料	114万円	● 登記事項要約書及び課税台帳突合業務委託料	97万円
● P R 動画「英語版」作成業務委託料	44万円	● 電話交換機等借上料	192万円
● 公共施設個別施設計画策定業務委託料	449万円		

**民生費**

● 放課後児童クラブ運営業務委託料	2,960万円	● 手話奉仕員養成研修事業	40万円
● 児童クラブエアコン設置工事費	514万円		

**農林水産業費**

● 森林 G I S ・ 林地台帳保守業務委託料	246万円	● 森林整備事業費補助金	486万円
--------------------------	-------	--------------	-------

**土木費**

● ひばり野公園基本構想策定業務委託料	699万円	● 学校給食調理業務委託料	4,884万円
---------------------	-------	---------------	---------

**教育費**

**下水道事業特別会計**

● 公営企業固定資産基礎調査業務委託料	129万円	● 公営企業固定資産基礎調査業務委託料	129万円
---------------------	-------	---------------------	-------

**農業集落排水処理施設事業特別会計**

**簡易水道事業特別会計**

● 公営企業固定資産基礎調査業務委託料	129万円	● 自主放送ノンリニア編集機更改業務委託料	225万円
---------------------	-------	-----------------------	-------

**ケーブルテレビ事業特別会計**



# 予算特別委員会

議員全員で構成する予算特別委員会(委員長：川村浩昭議員、副委員長：柏田匡智議員)を設置し、令和2年度の一般会計予算、特別会計予算及び病院事業会計予算について審議しました。

※委員会では議員のことを「委員」と呼びます。



かわむら ひろあき  
川村 浩昭 委員長

## 予算に対する 主な質疑

### 一般会計歳入

#### 森林環境譲与税

#### 問 大沢義之委員

これは平成31年3月に成立した税だが、算出の根拠は。

#### 答 中村農林課長

譲与基準に基づき、国が予算計上した譲与総額の、都道府県は2割、市町村は8割に相当する額を、私有林人工林面積50%、林業就業者数20%、人口30%に按分し算出している。

#### 立木等売却収入

#### 問 豊田孝夫委員

販売する場所と面積は。

#### 答 中村農林課長

岡谷地区の町有林(カラマツ)の、2・4ヘクタール分を販売する予定。

### 一般会計歳出

#### 【総務費】

#### 防犯灯設置・電気料補助金

#### 問 三浦俊哉委員

令和元年度より減額となった理由は。

#### 答 服部総務課長

防犯灯の設置は、ある程度設置が完了しており、減っていく見込みである。電気料についてもLED化したことにより削減できているため減額した。

#### バスロケーションシステム導入負担金

#### 問 尾形裕之委員

なぜ、町で負担しなければならぬのか。

#### 答 高谷総合政策課長

八戸圏域地域公共交通連絡会議において、バス利用者の利便性向上のため、システムを導入することになった。バス利用者的人数や財政指数に応じて負担金を納めるものである。

#### 町有林育成費

#### 問 大沢義之委員

令和元年度と比較し、3倍近い額が計上されているが、その理由は。

#### 答 中村農林課長

岡谷地区の材木を売るために、伐採等を委託することや、看守業務の人件費を、以前は賃金として計上していたが、委託料として計上したため増額となった。

#### 中央バス停リノベーション補助金

#### 問 尾形裕之委員

具体的な内容は。

#### 答 高谷総合政策課長

地域おこし協力隊の隊員が取り組んでいる事業

で、費用の2分の1を補助するもの。

#### 移住PR用パンフレット作成業務委託料

#### 問 高山浩司委員

どのくらい作成し、どこに配るのか。

#### 答 高谷総合政策課長

「五戸の暮らし(第2版)」を3000部印刷する予定。各公共施設の窓口には置いたり、東京五戸会の加入者や移住セミナーの来場者等に配布したりしている。

#### 多世代交流支援事業企画運営委託料

#### 問 鈴木隆也委員

この事業は地方創生事業の中の一つであったと思うが、予算計上されていない。令和2年度はやはりないということなのか。

#### 答 高谷総合政策課長

やらないうことではない。第2期の創生総合戦略にもこの事業を計画しており、これまでの事業内容を検証した後、新たに

立案し補正対応したい。

#### 婚活支援事業費補助金・成婚祝い金

#### 問 豊田孝夫委員

町独自で婚活事業をやるのか。

#### 答 高谷総合政策課長

民間事業団体が行う婚活イベントに対して補助するもの。しかし、過去2年間申し込みが無かったため、条件を緩やかにしたいと考えている。

#### 問 豊田孝夫委員

成婚祝金は、どういった条件を満たせばもらえるのか。

#### 答 高谷総合政策課長

町や八戸圏域連携中枢都市圏で開催している婚活イベントに参加して、成婚した場合に支給している。

ただし、夫婦のどちらかが五戸町の住民であることや、イベント参加の日から3年間は五戸町に住まなければならないという制約があり、今のところ実績が無い状況である。

## 【民生費】

### 倉石温泉指定管理料

問 鈴木隆也委員

令和元年度3月補正予算で、水道料金増による増額補正を可決した。しかし、令和2年度の当初予算は、補正後の総額よりも少ない額で計上しているのはなぜか。

答 高嶋福祉課長

当初算定した金額をもとに管理料を設定しており、水道料等の増額を考慮した金額ではない。できるだけ予算額で収めるように指定管理者と協議していく。



倉石温泉

## 【衛生費】

### 報償費 (健康ポイント事業)

問 鈴木隆也委員

事業の内容は。

答 晴山健康増進課長

健診受診率アップの起爆剤として、特定健診または各種がん検診を受けた方に、うまっこカードを活用し150ポイントを付与する事業である。

答 若宮町長

当町の受診率は県下で最下位に近く非常に厳しい状況にある。

私の公約の中に『受検のまち五戸』を掲げており、健康ポイントを通して、受診率の向上と商店街の振興につなげていきたい。

問 鈴木隆也委員

どこで受診すればポイントが付与されるのか。

答 晴山健康増進課長

五戸町健診センター、八戸市総合健診センター、八戸西健診プラザ、青森県総合健診センター(移動健診)で受診した場合に付与される。

動健診)で受診した場合に付与される。



五戸町健診センターで受診した方には、受診したその日のうちにポイントを付与する予定

### インフルエンザ予防 接種助成金

問 高山浩司委員

誰を対象にし、何人分を計上しているのか。

答 晴山健康増進課長

住民税の非課税世帯を対象としており、65歳未満の1回接種は300名、2回接種は10名で、65歳以上は400名を見込んでいる。

## 【農林水産業費】

### 多面的機能支払交付金

問 豊田孝夫委員

対象地域等はどのようなになっているか。

答 中村農林課長

多面的機能支払交付金は、農業を支える設備の維持管理など、地域の共同活動のために支払われる交付金である。

対象地区は、粒ヶ谷地、源兵衛、志戸岸、大久木沢、地藏平、明夫沢・南田ノ沢の6地区となっている。

## 【商工費】

### 中心市街地にぎわい 創出事業業務委託料

問 川崎七洋委員

事業の内容は。

答 高谷総合政策課長

令和元年度は、中心市街地で、7月にビックリ夜店における『街に光の花を咲かせよう』プロジェクト、10月にハロウィンのイベントを開催した。令和2年度は、年4回

季節が変わる毎にイベントを開催したいと考えており、取り組みについては、今後公募等をしていく予定である。

## 【消防費】

問 尾形裕之委員

令和2年度の予算に計上されていない理由は。

答 服部総務課長

現在、消防団の団員数が減少傾向にあることから、消防団の再編計画を進めていきたいと考えており、令和2年度は予算計上していない。

問 尾形裕之委員

内容。

## 国民健康保険特別会計

### 出産育児一時金

問 尾形裕之委員

内容。

答 竹洞住民課長

国保の被保険者が出産した際に、一時金として42万円を支給するもの。

## 葬祭費

問 尾形裕之委員

内容。

問 竹洞住民課長

国保の被保険者が亡くなった場合、葬祭を行う者に対して5万円を支給するもの。

## 下水道事業特別会計

### 管路施設工事費

問 鈴木隆也委員

本復旧のための工事費ということだが、管きよを布設する工事の予定はあるか。

答 松坂建設課長

公共下水道事業は、これまで様々な見直しをしてきているところであり、新規の管きよの布設工事の計画はない。

## 簡易水道事業特別会計

### 水道使用料

問 鈴木隆也委員

令和元年度と比較して

収入見込み額が増額となった理由は。

答 松坂建設課長

水道料金の改正はしていないため、加入戸数の増によるものである。



# 第2回 令和2年3月 定例会

3月9日から17日までの9日間の会期で定例会が開催されました。

議決件数 33件			
原案可決	同意	承認	認定
33件	0件	0件	0件

## 町長提出案件

### 協議 2件

- 青森県新産業都市建設事業団に委託すべき事業に関する計画の一部変更に係る協議の件

### 【内容】

・青森県及び関係市町村が負担する額を定めるもの

- 青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び本組合同約の変更について

### 【内容】

・三戸郡福祉事務組合の解散に伴い所要の改正をするもの

### 審議の結果

全員賛成で可決

### 計画の一部変更 1件

- 五戸町・倉石村合併まちづくり計画の一部変更について

### 【内容】

・東日本大震災に伴う合併市町村に係る地方債

の特例に関する法律の一部改正に伴い、引き続き合併特例債を有効活用していく必要があることから、計画の一部を変更するもの

### 審議の結果

全員賛成で可決

### 指定管理者の指定 1件

- 指定管理者の指定について

### 【内容】

・石沢駒踊伝承館の指定管理者となる団体及び指定の期間  
 ○石沢駒踊伝承館管理運営委員会  
 指定の期間

○令和2年4月1日から令和4年3月31日までの2年間



石沢駒踊伝承館

## 審議の結果

全員賛成で可決

### 条例の一部改正 11件

- 五戸町監査委員条例の一部を改正する条例

### 【内容】

・地方自治法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、賠償責任の一部の免責が新設されたことにより、所要の改正をするもの

- 五戸町課設置条例の一部を改正する条例

### 【内容】

・課の分掌事務の見直し等に伴い、所要の改正をするもの

- 五戸町印鑑条例の一部を改正する条例

### 【内容】

・成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律が制定されたことに伴い、所要の改正をするもの

- 五戸町特別参事の設置及び給与等に関する

条例の一部を改正する条例

### 【内容】

・特別参事が令和2年4月1日より会計年度任用職員となるため所要の改正をするもの

- 五戸町職員の特殊勤務手当支給に関する条例の一部を改正する条例

### 【内容】

・専門研修プログラム等の連携施設として医師を受け入れるに当たり、医師免許取得後の研修期間については、応能手当を支給しないこととするためのもの

- 外国語指導員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

### 【内容】

・地方自治法施行規則の一部を改正する省令が施行されることに伴い、所要の改正をするもの

- 五戸町都市公園条例の一部を改正する条例
- 五戸町屋内トレーニングセンター条例の一部

を改正する条例

- ひばり野スポーツ交流センター条例の一部を改正する条例

### 【内容】

・7から9は、陸上競技場・サッカー場及び野球場等の使用料、五戸町屋内トレーニングセンタートレーニング室等の使用料、ひばり野スポーツ交流センター宿泊料並びに施設使用料等について、使用料徴収区分の一元化及び近年の人件費等の上昇に適応した適切な受益者負担料金に改正するもの



五戸ドーム



**10 倉石スポーツセンター  
設置条例の一部を改正  
する条例**

【内容】

・倉石スポーツセンターのトレーニンングルームの用途変更に伴う名称変更並びにアリーナ等の使用料について、使用料徴収区分の一元化及び近年の人員費等の上昇に適切した適切な受益者負担料に改正するもの

**審議の結果**

全員賛成で可決

令和元年度補正予算 8件

**1 一般会計補正予算  
(第7号)**

・補正額(減額)  
△1億3779万1千円  
・予算総額(補正後)  
91億1825万2千円

**【主な内容】**

・移住支援交付金 △300万円  
・国保会計繰出金 △4031万4千円  
・簡易水道事業特別会計繰出金 △858万8千円

**11 五戸町家庭的保育事業  
等の設備及び運営に  
関する基準を定める条例  
の一部を改正する条例**

【内容】

・家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令が公布されたことに伴い、家庭的保育事業等の運営にあたり連携施設の確保に係る基準並びに自園調理に係る基準の緩和等の措置を講ずる必要があることから所要の改正をするもの

・予算総額(補正後)  
4億5306万8千円

**【主な内容】**

・後期高齢者医療広域連合納付金 256万円

**3 国民健康保険特別会計  
補正予算(第3号)**

・補正額(減額)  
△1781万4千円  
・予算総額(補正後)  
22億3353万6千円

**【主な内容】**

・退職被保険者等療養給付費 △1000万円

**4 介護保険特別会計補正  
予算(第4号)**

・補正額(減額)  
△8432万9千円  
・予算総額(補正後)  
23億7905万6千円

**【主な内容】**

・居宅介護サービス給付費 △5670万円

**5 下水道事業特別会計補  
正予算(第3号)**

・補正額(減額)  
△891万2千円  
・予算総額(補正後)  
24億534万7千円

3億5706万円

**【主な内容】**

・下水道管路施設点検調査業務委託料 △473万円

**6 農業集落排水処理施設  
事業特別会計補正予算  
(第2号)**

・補正額(減額)  
△386万6千円  
・予算総額(補正後)  
1億2170万8千円

**【主な内容】**

・施設維持管理修繕工事費 △137万1千円

**7 簡易水道事業特別会計  
補正予算(第3号)**

・補正額(減額)  
△858万8千円  
・予算総額(補正後)  
9956万7千円

**【主な内容】**

・施設維持管理修繕工事費 △750万円

**8 病院事業会計補正予算  
(第3号)**

・収益的収入  
8008万4千円減の  
24億534万7千円

・収益的支出  
4642万7千円減の  
27億4124万7千円

・資本的収入  
305万円減の3億5  
962万7千円

・資本的支出  
246万3千円減の5  
億7491万8千円

**審議の結果**

全員賛成で可決

令和2年度当初予算 10件

**1 一般会計予算**

**2 後期高齢者医療特別会  
計予算**

**3 国民健康保険特別会計  
予算**

**4 介護保険特別会計予算**

**5 下水道事業特別会計  
予算**

**6 農業集落排水処理施設  
事業特別会計予算**

**7 簡易水道事業特別会計  
予算**

**8 住宅用地造成事業等特  
別会計予算**

**9 ケーブルテレビ事業特  
別会計予算**

**10 病院事業会計予算**

(詳細は4~5P、審議内容は6~7P)

**審議の結果**

全員賛成で可決

**陳情  
1件**

**1 最低賃金の地域間格差を解消する全国一律最低賃金制度の実現と中小企業支援の拡充を求める陳情書**  
・総務常任委員会へ付託

**常任委員会の審査結果**

継続審査



3月定例会では6人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。



鈴木 隆也 議員

◆町立小・中学校の教育費無償化を

町長 人口減少問題に効果があるかは未知数  
財政状況を鑑みて慎重に判断する



質問①

当町の近隣自治体を見渡すと、おいらせ町と六戸町は直近の5年間に人口を維持している。また、人口当たりの出生数も当町と比較して高い水準で推移している。このことをどのように分析するか。

答 若宮町長

アクセスが良く規模の大きな宅地造成などの住宅事情や、大型商業施設の立地が大きな要因ではないか。子育て支援をはじめとする住民サービスは五戸町も引けを取っていない。今後とも動向を注視し、当町にとってプラスになることは調査研究する。

補足説明

※ここで無償化を唱える『教育費』とは

- 学校給食費と学校教育費
- 学校給食費と修学旅行費
- 遠足、見学費
- 学級、児童会、生徒会費
- PTA会費
- 学用品、実験実習材料費
- 制服、ランドセル等の通学用品費等々の合算。義務教育を受けさせる上で必要な全ての経費。

※五戸町における保護者負担の試算(子ども1人当たりの年額)

- 小学校給食費 約5万5千円
- 中学校給食費 約5万6千円
- 小学校教育費 約4万円
- 中学校教育費 約7万円

質問②

人口維持には子育て世帯の存在が不可欠である。しかし、残念ながら当町で生まれ育っても、様々な理由があるとは思いますが、近隣自治体に居を構え、結婚育児をする方々が少なからずいる。

子育て支援施策を含め、現行の事業を大きく見直すことで財源を確保し、周辺自治体では類を見ない『教育費無償化』を実現できれば、当町で生まれ育った方々はもちろん、そうでない方々にも、五戸町を子育ての場を選んでいただけるのではないかと。ひいては人口減少に少しでも歯止めがかかると思うが『教育費無償化』をどのように考えるか。

答 若宮町長

現在、人口減少や少子化の問題は、日本の多くの自治体が頭を抱える大きな問題である。子育て支援については、

◆町立公民館の改修計画は

町長 長寿命化計画を基本に据え使いやすい施設にする

国の施策である児童手当の他に、五戸町独自の事業である、新生児祝金交付事業や多子世帯商品券交付事業、所得制限はあるものの小・中学生の入通院費無償化など、多面的に行っている。これらは全ての子育てに関わる方々に満足していただけていないにせよ、多くの方々に喜ばれていると判断している。教育費無償化が人口減少問題等に効果があるのか未知数である上に、現在の児童・生徒数で試算すると、年間約1億500万円もの財源が必要であることを考えると、慎重に判断する必要がある。

質問①

トイレの洋式化が未だに進んでいないことや大ホールの座席の狭さなど、当町を代表する集会施設であるにもかかわらず使い勝手が良いとは言えない。改修についてどのように考えているか。

答 若宮町長

築40年が経過し経年劣化による修繕や耐震補強など、安心安全な施設の維持管理に努めてきた。令和2年度は、2階和室にエアコンを設置する予定である。年齢や性別、障害の有無や能力差などを問わずに利用できるユニバーサルデザインを取り入れ、まもなく策定される長寿命化計画を基本に据え、トイレをはじめとする設備を利用者に喜ばれるものに改修していく。

# 一般質問

## ◆ふるさと納税受入額を増やし、より多くの自主財源を確保するべきでは

町長 事業者の支援や町外へのPR活動を行い努力していく



おがた ひろゆき  
尾形 裕之 議員

### 質問①

五戸町のふるさと納税(※)の受入額は、令和2年1月末現在、約8000万円と年々伸びてきている。

しかし、全国に視野を広げると、宮崎県都農町では、人口が約1万人と小さな町にもかかわらず、ふるさと納税の受入額が約96億円と、五戸町の令和2年度一般会計予算額である86億円よりも多い額を受け入れている。

したがって、五戸町も努力次第でまだまだ受入額が伸びるはずである。受入額を増やすために、来年度どういう戦略で攻めていくのか。

### 答 若宮町長

成功している事例を見ると、納税者を惹きつける魅力のある返礼品を豊富に扱っている状況にある。このことから、魅力ある返礼品の新たな開拓と、人気の高い返礼品の在庫に不足を生じさせない

ような体制づくりが必要である。そのためには新規事業主の開拓や個人経営も含めた地域商社への支援をしていく。

また、この制度を活用している人が約10%程度とのデータもあるため、町外の方々へのPR活動を行い、ふるさと納税の件数・金額の増加を目指していきたい。

### 意見

私は、新しい市場の開拓や差別化を図りながら、ナンバードワンを目指す戦略『ランチェスター戦略』を用いて攻めていくべきだと考える。ぜひご検討いただきたい。

平成30年度受入額の多い市区町村 (単位：百万円)

順位	市区町村名	受入額
1	大阪府 泉佐野市	49,753
2	静岡県 小山町	25,063
3	和歌山県 高野町	19,637
4	佐賀県 みやき町	16,834
5	宮崎県 都農町	9,627

※ただし、総務省は、上位4市町を制度の趣旨から逸脱しているとして、ふるさと納税制度から除外している

### 用語解説

※ふるさと納税 任意の自治体に寄付をし、その寄付金額を居住している自治体へ申告することで、寄付分が控除できる仕組み。寄付された額の半分は、返礼品の品代や送料等の手数料の支払いに充て、残りの半分に自主財源(中央政府に依存せず自主的に調達できる財源)として町のために活用できる。ただし、返礼品合戦を是正するため、寄付金に占める返礼品割合が3割以下で、地場産品のみという基準がある。

令和元年度受入額の多い青森県内市町村 令和元年12月末現在 (単位：百万円)

順位	市区町村名	受入額
1	五所川原市	394
2	南部町	281
3	鱒ヶ沢町	280
4	弘前市	276
5	三戸町	232
12	五戸町	77

## ◆倉石温泉運営事業検討委員

に対する関連法律の周知徹底を

### 質問①

来年度に設置される倉石温泉運営事業検討委員会は、公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律を十分に理解して検討しなければならぬと思うが、町長の考えは。

### 答 若宮町長

同委員会は、施設及び設備の老朽化対策、入浴料を含む今後の課題等について、町内の住民の方々から広く意見を頂戴し、今後の運営事業に役立てる目的で設置するものである。

ご指摘のとおり、同委員会設置の際は、関係法令及び町の条例等の説明を行い、理解していただいた上で検討に入りたい。

## ◆地消地産と手話言語に関する活動は

### 質問①

地消地産条例と手話言語条例の制定が困難であるならば、地消地産を推進する条例、手話言語の理解を深める条例の制定であればどうか。

### 答 若宮町長

地消地産については、推進する条例ということであれば可能性は高くないと考えているが、個人の嗜好に関する課題もある。

手話言語については、来年度に『手話奉仕員養成研修事業』の実施に向けて準備を進めている。

この事業を実施することにより、人材育成ならびに理解を広めながら、一歩一歩ではあるが、手話言語条例の制定に向けて努力していく。





とよ たか お 豊田 孝夫 議員

### ◆五戸町議会議員一般選挙の投票率低下の原因は

江戸選挙管理委員長職務代理者  
選挙に対する無関心が原因だと考える

#### 質問②

区域の交通手段として巡回バスの運行を行って

いたが、昨年4月の県議会議員選挙、同年6月の町長選挙及び県知事選挙と比較して利用者の動き

はいかがであったか。また、バス以外の交通手段は考えていないか。

#### 質問①

2016年2月の町議会議員一般選挙の投票率は67・69%、今回の2020年2月の投票率は58・50%で、9・19%の低下が見られた。その原因として何が考えられるか。

#### 答 江戸選挙管理委員長職務代理者

バスの利用者は、県議会議員選挙は32名、町長選挙及び県知事選挙は30名であった。今回の町議会議員選挙は28名となっており、利用が固定化していると感じる。今後は、バス以外の交通手段も検討したい。

#### 質問③

巡回バスの利用者のために、路線バスの停留所が指定されているが、各

#### 質問⑤

ワゴン車を利用した移動投票所を実施している自治体もあるが、導入する考えはあるか。

#### 質問⑥

投票率の向上のための施策は考えているか。

地区にある集会所を待合場所にしてはどうか。

#### 答 江戸選挙管理委員長職務代理者

バス停留所と集会所も含めてバス運行ルートを調査し検討していきたい。

#### 質問④

期日前投票所が合計4カ所に設置されていたが、投票者の総数に対する割合は。

#### 答 江戸選挙管理委員長職務代理者

投票者総数8761人のうち、期日前投票所投票者は1938人で、その割合は22・12%である。

#### 答 江戸選挙管理委員長職務代理者

投票所を複数カ所開設するためには、二重投票を防止することが重要課題となる。さらには、投票管理システムの改修、無線通信網の整備、人員の増員など多額の費用が新たに必要となるので、今のところ導入に向けた検討はしていない。

#### 質問⑥

投票率の向上のための施策は考えているか。

#### 答 江戸選挙管理委員長職務代理者

選挙の持つ本来の目的、意義、必要性を改めて理解してもらうために、その重要性をPR活動していく。特に若い世代には、政治に関心を持つってもらうため、学校教育の一環としても捉えてもらう必要があると考えている。

### ◆住民の思いや意見が伝わる町づくりの取り組みは

町長 意見・要望があれば  
随時対応したい

#### 質問①

当町の議員定数が18名から16名となり、住民の意見が伝わりにくくなったのではないかと懸念がある。

#### 質問②

地域住民の意見を吸い上げる施策についてどのようなことを考えているか。

#### 答 若宮町長

各担当課で行っている委員会や協議会等の会議で、委員の方々から広く意見を求めている。

#### 答 若宮町長

令和2年度において、私が公約に掲げている(仮称)町タク事業について、調査研究をする予定にしている。

#### 質問②

また、住民の代表である自治会長や農事組合長からも地域での意見・要望があれば提案していただきたい。

#### 質問②

また、住民の代表である自治会長や農事組合長からも地域での意見・要望があれば提案していただきたい。

#### 質問②

また、住民の代表である自治会長や農事組合長からも地域での意見・要望があれば提案していただきたい。



ただし、当町では、ほぼ全域においてコミュニティバスを運行しており、競合を避けるためにも各種調整が必要であると考えている。

# 一般質問



たかやま こうじ  
高山 浩司 議員

## ◆子宮頸がんワクチン接種を

### 進めるべきでは

町長 より必要な情報を提供する

ている。

#### 答 若宮町長

しかし、副反応の発生頻度がより明らかになり、平成25年6月、適切な情報提供ができるようになるまでの間、積極的な接種の勧奨を差し控えるという国からの通達により、現在まで接種対象者に個別通知を出していない。

助成前の平成22年度以前については、町では接種者数の把握をしていない。助成後については、平成23年度17

1人、平成24年度61人、平成25年度6人、平成26年度4人、平成27年度以降は0人という推移になっている。

#### 質問②

ワクチン接種についての広報はどのように行っているのか。

## ◆天皇についてもっと教育すべきでは

教育長 学習指導要領に基づき指導している

#### 質問①

#### 答 柳町教育長

歴代の天皇は、国民を『大御宝(おのみたから)』と呼び、自分以上に大切な存在だとし、ともに生きてきた国民の幸福を、さらには世界の人類の幸福をひたすら願ひ祈つてこられた。そして、このような天皇の在り方を見習い、日本人は昔から、和を尊び、他者を思いやる調和的民主主義を創り上げてきた。

しかし、このような国の成り立ちと天皇のご存在について、学校であまり教えていないため、日本人自身がそのことについてあまり理解していないことは、大変問題であると思うが、教育長としてどのように考えているか。

#### 意見

日本の成り立ちから現在までの歴史を書いた、百田尚樹氏の著書である『日本国紀』という本がある。この様な本を、学校の図書室に置いて、歴史の副教材にしたり、町図書館などに置いて読んでもらい、愛国心及び郷土愛を育てるべきである。

義務教育の段階においては、この程度の学習で十分であると考えている。

#### 用語解説

※学習指導要領

全国のどの地域で教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるようにするため、文部科学省が定めている教育課程(カリキュラム)を編成する基準。



百田尚樹  
『日本国紀』  
幻冬舎, 2018.

答 若宮町長  
当町では、平成23年度から子宮頸がんワクチン接種費用の助成を実施し



かわさき しちひろ  
川崎 七洋 議員

◆令和2年度予算の重点項目は

町長 公約実現に向け努力する

実を目指すものである。

**質問①**  
令和2年度予算は、若宮町長が編成する最初の予算となる。特に重点的に予算配分したのはどのようなところか。また、三浦前町長時代と比較し、どのような変化があるか。

**答 若宮町長**  
重点的に予算配分した部分のひとつは、「未来へつなぐ教育のまち五戸」のための事業で、学校トイレの洋式化、放課後児童クラブへのエアコン設置、ひばり野運動公園のリノベーションの調査研究など、学校教育だけでなく、放課後の生活の場も含めた広義での教育の充

**答 若宮町長**

三浦前町長との違いがあるとするれば、まちの駅構想である。今は一旦立ち止まって凍結している。その時のパブリックコメントの結果は、中心市街地にぎわい創出事業に取り入れていきたいと考えている。

また、当初予算に消防ポンプ車の更新費用を計上していない。今一度将来の防災計画を見定めた上で、消防団分団の再編成や消防ポンプ車の配置計画をし直す予定である。

**質問②**

選挙で若宮町長を選んだ町民の中には、変革を期待している人が多い。今後の方向性についてどのように考えているか。

様々な事業をやるためには財源が必要になる。三浦前町長時代の事業の中で、そろそろ効果が薄いと判断してもよい事業もあるのではないか。そういういったものを廃止して財源を確保しては。

**質問③**

「広報このへまち」には、町民1人当たりに使われる予算が記載されているが、世代別、年代別の視点で見ると、その内訳はどのようなになっているか。

**答 若宮町長**

三浦前町長は、道路の破損や草木の繁茂などへの対処といったインフラに予算を充てていた。三浦前町長が頑張ってきた分、令和2年度予算ではその分を抑えさせてもらっている。そのため、基金を取り崩しせずに予算編成できた。

◆町民1人当たりの予算額を世代や年代別でみると？

**質問④**

「広報このへまち」には、町民1人当たりに使われる予算が記載されているが、世代別、年代別の視点で見ると、その内訳はどのようなになっているか。

世代・年代別の町民1人当たりに使われる予算額

世代・年齢別階層	町民1人当たりに使われる予算額
就学前の乳幼児	1,895,000円
小中学生	1,203,000円
16歳～18歳	435,000円
19歳～64歳	370,000円
65歳以上	484,000円 (827,000円)*
町民1人当たりの予算額	509,987円

\*後期高齢者医療・介護保険特別会計の予算額も加えた場合

**答 大久保副町長**  
世代ごとに人口も変わっていくので一概には言えない。

**意見**

分を占め、小中学生については、学校施設の維持管理も入るので他の世代よりも配分が多い。保育料負担軽減や新生児祝金などの町独自の施策も展開しており、安心して子供を産み育てられる町を目指す。

**質問⑤**

今後、年度が経つごとにどの世代の予算が拡大していく見通しなのか。

ぜひ若い世代への予算を拡大していただきたい。若い世代をサポートして、その分社会に出てきてもらって、行政と協力的体制を構築することを考えるべきではないか。

それが少子高齢化に立ち向かう行政の目指すべき姿だと考える。



# 一般質問



かわむら ひろあき  
川村 浩昭 議員

## ◆高校へ通学するための支援充実を

町長 県及び関係市町村と協議する

得ない状況となり非常に残念に思う。

**質問①**  
五戸町管内の中学校の卒業生は、120名とのことである。

今年度から五戸高校の募集が停止になり、生徒や保護者の方々が困っていると聞いている。

進路先としての高校選択やバス路線、下宿、送迎等々の金銭的問題について、町としての考えや対策は。

**答 若宮町長**

例年だと40名ほどが五戸高校に進学していたが、募集停止により全員が町外の高校へ進学せざるを得ない状況となり非常に残念に思う。

現在町としては、高校への通学において重要な要素であるバス路線の改善に向けて、県及び関係市町村と調査検討中である。さらに、通学支援制度創設の要望を、県に対し郡町村会を通じて行っているところである。

なお、県では、新年度の新規事業として、住民税所得割の非課税世帯で、県育英奨学会の高校奨学金利用者に対し、通学費または下宿費の一部に相当する額を、返還金から免除する制度の創設について審議中とのことである。

このほか国においても、4月から私立学校において授業料無償化を打ち出している。

## ◆新型コロナウイルスによる新型肺炎拡大の対策は

町長 様々な感染拡大防止策を講じている

**質問①**

新型肺炎感染の拡大を巡り、国・県では色々な策を行っている。集会所などがその例だと思いが、五戸町としての対策は。

町では、新型コロナウイルス対策庁内連絡会議を開催し、情報の共有と今後の方針を検討し必要な対策をとっているところである。

**答 若宮町長**

主な対応としては、全国一斉に行われた小中学校の臨時休校をはじめ、不特定多数の人が集まる公民館や図書館等の公共施設の閉館または一部制限、スポーツ関連行事の自粛、乳幼児健診の延期、地域での健康教室等の中止などである。また、臨時休校に伴い、放課後児童クラブを開設した。

町民への周知方法としては、感染予防や相談窓口などの情報について、町のホームページやケーブルテレビに掲載したほか、チラシを作成し、全戸配布している。

町民への周知方法としては、感染予防や相談窓口などの情報について、町のホームページやケーブルテレビに掲載したほか、チラシを作成し、全戸配布している。

町民への周知方法としては、感染予防や相談窓口などの情報について、町のホームページやケーブルテレビに掲載したほか、チラシを作成し、全戸配布している。

今後の状況により、国が緊急事態宣言を行った場合は、町対策本部を設置するなど総合的かつ迅速な対応を図っていきたいと考えている。

**意見**

メディアでは連日騒いでいるが、町民の中にはどうすればよいのか分からない人がたくさんいると思う。対応の仕方をしっかりとして周知徹底していただきたい。

**質問②**

五戸総合病院ではどのような対処をしているのか。

**答 佐々木病院事務局長**

コロナウイルスに感染した疑いのある患者が、保健所を通さずに来院し



# 和田智也議員

生年月日:平成元年8月4日(30歳)

担当委員会:総務常任委員会  
広報常任委員会

当選回数:1回

●議員インタビュー

町民の皆様には議会議員を身近に感じてもらうことを目的に、今号より毎月1人ずつ議会議員のインタビューを掲載します。

今回は五戸の議会最年少議員の「和田智也」議員のインタビューです。

(インタビュー…)

広報常任委員長 川崎七洋

Q 本日はよろしくお願

いします。

はじめに、和田議員の家族構成を教えてください。

A 和田智也 議員

はい、今は妻と子供1人の3人暮らしをしています。

Q 最近は議員でも子育て世帯の人が増えました。和田議員もその世代ということですね。

A 和田智也 議員

そうですね。子供は今保育園に行っていて、日中は私も妻も仕事で外に出ています。

私の年代だと一般的な家庭の形かなと思います。

Q 私の世代でも同じような家族構成が一般的ですね。

和田議員は保育園では役員を務めているとお伺いしています。



# 議員インタビュー

## A 和田智也 議員

はい、父母の会の副会長を務めています。それ以外にも五戸町商工会青年部と、下大町若者中という会に入っています。

## Q 公私ともに忙しい日々を送っているのですね。ちなみに下大町若者中という会はどういう会なのでしょう

か？

## A 和田智也 議員

下大町にいくつか神社があるんですが、その氏子さん方と一緒に神社の祭典(お祭り)を切り盛りする会ですね。五戸まつりでも役目があるんですよ。会には縁あって入ることになって今は2年目です。

## Q 地域文化の下支えをする大事な会ですね。素晴らしいと思います。

です。

## 議員を目指したのも

そういつた活動の延長なのででしょうか。

## A 和田智也 議員

それもありますが、自分が父親になったことが第一のきっかけですね。

子供を育てているうちに責任感とか使命感というものが大きくなっていて、そのうちに議員というものに目を向け始めました。

## Q 和田議員はまさに子育て世代の応援を受けて当選した議員だと思えますが、議員として成し遂げたいことは何でしょうか。

とにかく人ですね。町に人がいないとどうにもならない。空き家の問題とか活用を進めて定住する人を増やしたい。住む環境を良くして定住先に五戸を選んでも

## A 和田智也 議員

私に周りには意外と「五戸に住みたい」という人が多いです。いや、「多かった」というべきかもしれません。八戸にも十和田にも行きやすく通勤に便利だから五戸に住みたい。だけど住む場所がない。アパートの家賃は八戸と変わらなくて、町の家賃補助も夫婦だけ、しかも3年すると減額される。結局条件が合わなくて十和田に住んでるとか、八戸に住んでるとか、そういう人が周りに沢山いました。

らせるようにしたいですね。

## Q 空き家は大変な問題ですね。そこを重点課題とした理由は何かありますか？

私に周りには意外と「五戸に住みたい」という人が多いです。いや、「多かった」というべきかもしれません。八戸にも十和田にも行きやすく通勤に便利だから五戸に住みたい。だけど住む場所がない。アパートの家賃は八戸と変わらなくて、町の家賃補助も夫婦だけ、しかも3年すると減額される。結局条件が合わなくて十和田に住んでるとか、八戸に住んでるとか、そういう人が周りに沢山いました。

## A 和田智也 議員

さつきお話しした通り、何をすることも人がいないとどうにもならない。住むもよし、働くもよし、食べるもよし、人がいっぱい出入りする町にした

## A 和田智也 議員

さつきお話しした通り、何をすることも人がいないとどうにもならない。住むもよし、働くもよし、食べるもよし、人がいっぱい出入りする町にした

ありがとうございます。期待しています。

(了)



夜は子供中心の生活なので早朝が自分の時間。この日の朝活は部屋の掃除です。



家族で夕食作り。家にいないことが多いので一緒にできる時はなるべく一緒に。

## Q 確かに五戸の立地は武器になります。ぜひ頑張りましょう。

最後に、町政への意気込みをお答えください。

いですね。しかし何をやるにも必要になるのは予算。五戸町で経済が回る仕組みを作れるかが今後の力ギになると思うので、これから頑張っていきたいです。



第27回連携中枢都市圏の形成に関する勉強会

令和2年1月17日、八戸市において八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議員連盟主催による勉強会が開催され、五戸町議会議員は7人が出席した。

**講演** 「広域連携を取り巻く現状と課題について」

**講師** 総務省自治行政局市町村課 係長 荒居 陽子 氏

\*この勉強会は八戸圏域8市町村の振興・発展に資するため、平成21年度より各市町村持ち回りで開催。



三浦俊哉議員が、町議会議員として30年以上（令和元年11月8日現在）在職し功労があったとして、全国町村議会議長会創立70周年を記念し、令和元年11月13日全国町村議会議長会会長より表彰状が授与された。

令和2年3月16日五戸町議会議員会定期総会終了後、三浦專治郎議長より表彰状の伝達が行われた。

全国町村議会議長会  
創立70周年記念表彰



大沢義之議員が、町議会議員として15年以上（令和2年2月5日現在）在職し功労があったとして、令和2年2月6日全国町村議会議長会会長より表彰状が授与された。

令和2年3月16日五戸町議会議員会定期総会終了後、三浦專治郎議長より表彰状の伝達が行われた。

自治功労者表彰

編集後記

新しい町議会議員16名の任期が2月29日より始まりました。広報常任委員長に就任した川崎七洋です。町民の皆様方に議会のことをわかりやすく解説し、興味を持ってもらえる議会だよりとするよう、誠心誠意努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

執筆現在、新型コロナウイルスが日本で急拡大中であり、国では緊急事態宣言を今まさに出そうかというところがあります。町民の皆様もコロナ疲れ、自粛疲れが出ているところと思います。しかし、事態の収束は残念なことにはまだ先です。海外では今の事態を「戦争状態にある」と表現するほどであり、日本でもそう言えるほどの人命の危機が迫っていると感じます。一人一人が保菌者とならないように行動すれば、自身を守り、そして周囲の方々の命を守る事ができます。全員の方でこの事態を生き延びるよう頑張らしましょう。

委員長 川崎 七洋

議会を傍聴してみませんか

6月定例会は6月11日開会予定です。

詳しくは議会事務局まで

TEL 62-2111 (代表)

日程が決まり次第「五戸ちゃんねる」五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の議会だよりは、令和2年7月発行予定です。

広報常任委員会

委員長 川崎 七洋  
副委員長 豊田 孝夫  
委員 和田 智也  
委員 柏田 匡智  
委員 鈴木 隆也  
委員 大久保 和夫  
委員 高山 浩司  
発行責任者 三浦 專治郎  
令和2年4月24日発行